

「……さて、それじゃあ行きましようか」

「おっと早速さっそくカジノ行っちゃう？ こう見えても僕、昔はカジノで働いてたことあるから結構ギャンブルには自信が——」

「ああ違うわよ。まずはその魔女まじよの女の子の身元を調べる必要があるでしょう？ こういった事態の場合、まずは情報収集が最優先よ」

「ほほう」

「というわけで行くわよ」

「……どこに？」

「喫茶店きっさてん」

……。

はー？

○

地味^{じみ}な西洋風の店構えの中で、衣擦^{きぬず}れの音をにわかには鳴らしながら、着物の少女二人が歩いている。よく似た顔立ちをして、立ち振る舞いも顔立ちも、肩口のあたりで綺麗^{きれい}にさっぱり切り揃^{そろ}えられた髪^{かみ}に至^{いた}るまで、そっくり。

相違点があるとすれば髪^はの色だけだった。

「事件でありんす？」と白髪^{はくはつ}の女の子は首を傾けて、僕の前^{まへ}にパフエ（ふつうサイズ）を置く。

「事件でやんす?」「黒髪の女の子も同じように首を傾けて、リリエールの前にチヨコレートサンデーストロベリーミックスワンダーランドデラックスパフエ（えげつないサイズ）を置く。

「私がここに来てパフエを頼んだということは事件が起きたということよ」「なぜかしたり顔のリリエールちゃん。可愛い。^{かわいい}可愛い。」

「当店のパフエは期間限定商品でありんす」「そもそも今日初めて注文されたでやんす」

「……………」
「ふてくされてパフエの山を崩し始めやがるリリエールちゃん。可愛くない。」

しばし食べてから、リリエールは、

「情報屋リーカーと会うのは初めてだったわよね。こっちの白いのがシロナ。こっちの黒いのがクロエ。どっちもこの国の人のことなら大抵知っている情報通よ。人を探するときはたいていこの二人に頼めば万事ばんじ解決かいけつよ」と、双子ふたごに札束をポイと渡した。

「わあいお金でありんす」白髪のほう——シロナが指先をはじきながら札束を数えて、

「あなたが戒祈屋かいきやリリエールの新入りのマクミリアでやんすな？」と黒髪のほう——クロエが僕を見つめた。

「……いやまっつてなんで僕のこと知ってんの？」

僕たち初対面ですが？

「だってわっつち達は情報屋でありんす」「この国の人のこと

なら大抵分かるでやんす。……つーか今そう説明してたでやんす。お前さては馬鹿ばかでやんすな？」

「……………」

なんで僕ぼく罵倒ばとうされてるんだろ……。

「もちろんあなたのことともわつち達は知っているでありんす。あなたはマクミア。領域都市運営りょういいきとしの孤児院こじいんで生まれ育つて、十四歳で独り立ち。それから三年くらい色々な職を転々としながら生きてきたでありんす」「最近しゆみの趣味は週に一度、孤児院の子供たちに自分の趣味を押し付けることしゆこうでやんす。周りに自分と同じような趣味趣向しゆこうの本を読んでくれる人がいないから、子供たちに読ませて自己満足に浸ってるでやんす」

「……………」

「合ってるの？」

なんか興味津々のリリエール。
きょうみしんしん

「腹立つくらい合ってる」

なるほど二人の実力は確かに本物らしい。ふあつく。

個人情報ダダ漏れもじゃないかひどいや。とも思ったのだけれど、よく考えたら祈れば何でも叶う国の中、こんな双子がいたところで確かに不思議はないかもしれない。

「いえーいでありんす」「いえーいでやんす」

揃って無表情のダブルピースを浮かべる双子。

「ま、雑談はこれくらいにして」「リリエールは二人にさらに紙切れを渡した。「カジノで事件が起きたの。その犯

人のこと、調べてくれないかしら——詳細はこの紙きれに書いといたわ。このあたりで魔女のコスプレが趣味の女の子とかいない？」

「ふむふむ」「なるほど」

二人は仲よく紙切れの端はしっこを互いにつまみながら、しばし黙った。

そして、

「該が当いなしとうでありんす」「こんな特徴の子は知らないでやんす」

とテーブルに置いた。

知らないとな？

「……急に二人の能力が疑わしくなっただけだ」

「自慢じゃないけどわっち達はこの国の住民のことなら完全に網羅もうらしててあります。でもこの特徴の女の子は知らないであります」「やんす」

「……じゃあ、カジノの連中は集団で幻覚げんかくを見てるのかな」

「んなわけないだろ貴様は現実見ろであります」「やんすう」

「……じゃあ、外から来た魔女、とか」

「この国に魔法使いは入国できないでありますよ」「やんすー」

「……え、マジ？？」

「そんなのも知らないんであります？ この国で魔法使い

が見られらいのは魔法使いの入国が禁じられているからで
ありんす」「やんすよ」

「……………いやまっつて。魔女が定期船に忍び込ん
だ可能性も」

「魔女ともあろう者がそんなことするはずないでありん
す」「やんやんす」

「ああああああ謎は解けた！ 犯人は魔女の変装をし
た外国の女の子だ！」

「答えにたどり着くのが遅いでありんす」「やんすでやん
す」

すべて二人に冷静に反論されて、もうなんかヤケクソだ
った。クロエに至ってはやんすしか言っていないけどね！